

- 問1 扇状地の土地利用について、扇の中央付近にあたる「扇央（せんおう）」では、河川の水が地下に潜り込んでしまう「伏流（ふくりゅう）」という現象が起こります。この性質が人々の生活や農業に与えた影響を説明したものと、正しいものはどれですか。（2024年 徳島県公立入試 類似）
- | | | | |
|--------------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|--------------------------------------|
| 1. 地表を流れる水が乏しいため、かつては集落や水田が作られにくかった。 | 2. 水が全く存在しないため、現在でも人が住むことは不可能である。 | 3. 地表に常に水が溢れているため、大規模な水田地帯が形成された。 | 4. 地下水が浅い場所を通るため、井戸を掘らなくても容易に水が得られた。 |
|--------------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|--------------------------------------|
- 問2 都心部の平均気温が周辺部よりも高くなる「ヒートアイランド現象」の主な原因と、その対策の組み合わせとして最も適切なものはどれですか。（2014年 愛媛県公立入試 類似）
- | | | | |
|--------------------------------------|-------------------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|
| 1. 人工排熱の増加が原因であり、対策として建物の屋上や壁面を緑化する。 | 2. 森林の減少が原因であり、対策として砂漠に植林を行う。 | 3. 二酸化炭素の増加が原因であり、対策として電気自動車の普及を進める。 | 4. フロンガスの排出が原因であり、対策としてスプレーの使用を制限する。 |
|--------------------------------------|-------------------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|
- 問3 日本の気候区分において、11月から2月にかけての冬季の降水量が夏季の降水量に比べて非常に多くなる特徴を持ち、新潟県や富山県などの地域に代表される気候を何といいますか。（2024年 静岡県公立入試 類似）
- | | | | |
|------------|------------|------------|-----------|
| 1. 日本海側の気候 | 2. 太平洋側の気候 | 3. 中央高地の気候 | 4. 瀬戸内の気候 |
|------------|------------|------------|-----------|
- 問4 宇治川のような大きな河川の周辺において、過去に建物が浸水するほどの被害があった際、被害を免れた地点の地形的な特徴を地形図から読み取る方法として、最も適切なものはどれですか。（2024年 長崎県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 等高線の間隔が非常に狭く、急な傾斜地となっている山の斜面にある地点を確認する。 | 2. 周囲を山に囲まれ、等高線の数値が周囲よりも小さくなっている盆地のような場所を探す。 | 3. 標高が周囲よりもわずかに高く、地形図上で等高線が閉じた曲線を描いているような微高地を探す。 | 4. 河川のすぐ横に位置し、等高線の間隔が非常に広くて平坦な土地であることを確認する。 |
|--|--|--|---|
- 問5 日本の森林において、適切な管理や手入れが停滞することでもたらされる課題について述べた次の文のうち、正しいものはどれですか。（2022年 滋賀県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 森林整備の停滞は、良質な木材の供給を増やし、住宅建設のコストを大幅に下げる効果がある。 | 2. 手入れの行き届かない森林では、光合成が活発に行われるようになるため、二酸化炭素の吸収量が増大する。 | 3. 林業従事者の減少は、木材自給率の劇的な向上をもたらし、地域の雇用問題を解決する要因となっている。 | 4. 森林の整備が不十分になると、水源の涵養（かんよう）や国土保全といった機能が十分に発揮できなくなる。 |
|--|--|---|--|
- 問6 夏の東北地方の太平洋側において、オホーツク海高気圧から陸地に向かって吹き込む冷たく湿った北東の風を何と呼びますか。（2024年 高知県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------|--------|-----------|--------|
| 1. からっ風 | 2. やませ | 3. フェーン現象 | 4. 季節風 |
|---------|--------|-----------|--------|
- 問7 季節風が日本の気候に与える影響について、日本海側の特色を述べたものとして正しいものはどれか。（2018年 和歌山県公立入試 類似）
- | | | | |
|-------------------------------------|----------------------------------|---------------------------------|---------------------------------------|
| 1. 冬に北西からの季節風が山脈を越えてくるため、乾燥した晴天が続く。 | 2. 夏に南東からの季節風の影響を強く受け、降水量が少なくなる。 | 3. 冬に北西からの季節風の影響を強く受け、降水量が多くなる。 | 4. 夏に北西からの季節風が吹き込むため、一年を通して気温が低く保たれる。 |
|-------------------------------------|----------------------------------|---------------------------------|---------------------------------------|
- 問8 日本の冬の気候に大きな影響を与える、ユーラシア大陸から日本海を越えて吹き付ける冷たく湿った風を何といいますか。（2015年 岐阜県公立入試 類似）
- | | | | |
|--------|-----------|-----------|--------|
| 1. 偏西風 | 2. 南東の季節風 | 3. 北西の季節風 | 4. やませ |
|--------|-----------|-----------|--------|
- 問9 日本の太平洋岸を南から北へ向かって流れる、世界最大規模の勢いを持つ暖流について述べた次の文の空欄にあてはまる用語を選びなさい。「この海流は（ ）と呼ばれ、その強い流れを利用して海中に設置したプロペラを回転させ、電気を得るための研究も行われている。」（2018年 鹿児島県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------|----------|-------------|-------------|
| 1. 対馬海流 | 2. リマン海流 | 3. 親潮（千島海流） | 4. 黒潮（日本海流） |
|---------|----------|-------------|-------------|
- 問10 無電柱化を推進する自治体の計画において、病院の周辺や交通量の多い国道を「最優先で整備すべき地域」とし、学校の周辺などを「それに次いで整備する地域」と区分することがあります。このように地域特性に応じて優先順位をつける理由として、最も適切な説明はどれですか。（2026年 長野県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 交通規制の影響を最小限にするため、もともと交通量が多く電柱の数も少ない地域から着手するのが効率的だから。 | 2. 交通量の多い地域ほど電線を地下に埋める工事費用が安く済み、短期間で事業を完了させることができるため。 | 3. 災害発生時に人命救助の拠点となる施設や、物流の幹線となる道路の通行を最優先で確保する必要があるため。 | 4. 学校周辺よりも病院や国道沿いの方が、無電柱化による景観改善が観光客の増加に直結しやすいと考えられているため。 |
|---|---|---|---|
- 問11 インターネットなどの情報通信技術（ICT）を利用して恩恵を受けられる人と、利用できずに機会を失う人との間に生じる、経済的・社会的な格差を何といいますか。（2023年 山口県公立入試 類似）
- | | | | |
|------------|-------------|------------|---------------------|
| 1. 情報リテラシー | 2. デジタルデバイド | 3. ユビキタス社会 | 4. デジタルトランスフォーメーション |
|------------|-------------|------------|---------------------|
- 問12 日本の気候区分のうち、周囲を山地に囲まれた内陸部に位置し、年間を通じて降水量が少なく、夏と冬の気温差（年較差）や一日の気温差（日較差）が大きい特徴を持つ気候を何といいますか。（2019年 佐賀県公立入試 類似）
- | | | | |
|------------|------------|-----------|------------|
| 1. 日本海側の気候 | 2. 太平洋側の気候 | 3. 瀬戸内の気候 | 4. 中央高地の気候 |
|------------|------------|-----------|------------|
- 問13 自然災害による被害を予測し、被害の軽減や円滑な避難に役立てるために、土砂災害などの被害想定区域や避難場所・避難経路を表示した地図を何といいますか。（2026年 宮崎県公立入試 類似）
- | | | | |
|-----------|------------------|--------|------------|
| 1. ドットマップ | 2. ユニバーサルデザインマップ | 3. 地形図 | 4. ハザードマップ |
|-----------|------------------|--------|------------|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 地表を流れる水が乏しいため、かつては集落や水田が作られにくかった。	扇状地の中央部（扇央）は堆積した砂礫の層が厚いため、河川が地下を流れる「伏流」が起こり、地表で水を得ることが困難でした。そのため、古くからの集落は水が得やすい扇頂（山からの出口）や、伏流水が湧き出す扇端（扇の縁）に発達し、扇央部分は主に林や果樹園として利用されてきました。現代では上水道の整備により住宅地としても利用されています。
問2	答え 1 人工排熱の増加が原因であり、対策として建物の屋上や壁面を緑化する。	ヒートアイランド現象は、ビルや道路などの人工建造物の増加や、冷房・自動車からの人工的な熱の放出が主な原因です。この対策として、植物の蒸散作用を利用して温度を下げる「屋上緑化」や、風の通り道を確保する都市計画などが実施されています。フロンガスはオゾン層の破壊、二酸化炭素は地球温暖化の主な原因であり、これらは地球規模の課題として区別して理解する必要があります。
問3	答え 1 日本海側の気候	冬季にユーラシア大陸から吹きつける冷たく湿った北西の季節風が、日本の中心部を走る山脈にぶつかることで雪や雨を降らせるため、この地域では冬の降水量が他の季節よりも多くなります。これは太平洋側の地域で冬に乾燥した晴天が続くのと是对照的な特徴です。
問4	答え 3 標高が周囲よりもわずかに高く、地形図上で等高線が閉じた曲線を描いているような微高地を探す。	浸水被害を避けるためには、周囲の土地よりも標高が高い場所を選ぶことが鉄則です。地形図において等高線が円のように閉じている場所や、数値から周囲より高いことが確認できる地点は、氾濫した水が到達しにくい「微高地」であることがわかります。宇治川のような河川沿いの地域では、こうしたわずかな土地の高低差が防災上の重要な判断基準となります。
問5	答え 4 森林の整備が不十分になると、水源の涵養（かんよう）や国土保全といった機能が十分に発揮できなくなる。	森林には雨水を蓄えて川の流量を調節する「水源の涵養（かんよう）」や、土砂崩れを防ぐなどの重要な機能がありますが、これらは適切な伐採や植林といった整備があつてこそ維持されます。林業の衰退によって管理が行われなくなると、木々の健康状態が悪化し、こうした公的な利益をもたらす機能が低下することが大きな社会課題となっています。
問6	答え 2 やませ	夏の東北地方の太平洋側では、北のオホーツク海で発達した高気圧から、湿った冷たい空気が北東風となって流れ込むことがあります。この風を「やませ」と呼び、数日間にわたって吹き続けると気温が上がらず、濃霧が発生することもあります。
問7	答え 3 冬に北西からの季節風の影響を強く受け、降水量が多くなる。	日本海側の気候の最大の特徴は、冬の降水量の多さにあります。これは冬特有の北西の季節風が、水分を蓄えた状態で直接吹き込むためです。対照的に、太平洋側ではこの季節風が山脈によって遮られ、水分を落とした後の乾燥した風が吹くため、冬は晴天が多く乾燥する傾向にあります。このように、季節風と地形の組み合わせが日本の地域ごとの気候差を生み出しています。
問8	答え 3 北西の季節風	冬になると、ユーラシア大陸にあるシベリア高気圧から日本列島に向かって風が吹きます。この風は日本海を渡る際に水分を蓄える性質があり、日本の北西方向から吹き付けるため、日本海側の地域に雪や曇天をもたらす要因となります。
問9	答え 4 黒潮（日本海流）	日本の南岸を東へ流れる黒潮は、別名を日本海流と呼びます。低緯度から熱を運んでくる暖流であり、その流速や流量は世界最大規模です。海の色が濃い青色（黒っぽく見える）であることが名前の由来となっています。北から流れてくる寒流の親潮と混ざり合う潮目の形成にも関わっています。
問10	答え 3 災害発生時に人命救助の拠点となる施設や、物流の幹線となる道路の通行を最優先で確保する必要があるため。	防災計画では、災害時の機能維持が特に求められる場所から優先的に対策が行われます。救急受け入れを行う病院や、支援物資を運ぶ大型車両が通る幹線道路が電柱倒壊で通行不能になると、被害が拡大する恐れがあるため、これらを結ぶルートが最優先の整備対象となります。
問11	答え 2 デジタルデバイド	英語で「情報の隔たり」を意味する言葉で、パソコンやスマートフォンの所有状況、あるいは操作スキルの有無によって、得られる情報の量や質に差が出ることを指します。近年、行政サービスのオンライン化が進む中で、この格差を埋めることが重要な社会課題となっています。
問12	答え 4 中央高地の気候	中央高地は周囲を高い山々に囲まれているため、季節風が運んでくる湿った空気が入り込みにくく、年間を通じて降水量が少なくなるのが特徴です。また、海から離れた内陸に位置するため、比熱の小さい陸地の影響を強く受け、気温の変化が激しくなります。
問13	答え 4 ハザードマップ	自然災害が発生した際に被害を最小限に抑えるため、危険な区域や避難場所を示した地図をハザードマップと呼びます。日頃から危険区域を確認し、迅速に避難できるように作成されています。